

## 生涯学習支援事業報告

事業の名称	オープンカレッジ 「杜のまなびや」	事業代表者	田中 真理
目的	地域社会に対する貢献の一環として、およびインクルーシブ教育の発信として、オープンカレッジを位置づけ、知的障害者への生涯学習支援を行う。また、受講生・企画運営スタッフ・講師が、「学び」の意味を再考する場とする。		
対象者	知的障害のある学外受講生（以下、学習者） 東北大学在籍の学部生・大学院生（以下、共同学習者）		
内容	<p>（１）講義題目：働くことについて 講師：教育学研究科 川住 隆一 教授 2012/10/13</p> <p>【講義内容】 障害のある人の就労についての現状（実際に働いている場や仕事内容など）を取り上げるとともに、受講生自身における“働くこと”に対する気持ちや考えに焦点を当てた。そして、全体の場での発表や受講生同士での話し合いなどを通して、自分の仕事・アルバイトに対する姿勢について考えるとともに、他の受講生がどのような思いを持って働いているかについて深く知る機会となることを目指した。</p> <p>【講義形式】 障害のある人が働いている姿や、雇用主における障害のある人の就労に対する考えを講師が DVD を用いて紹介した。受講生はそれを踏まえながら、職場の人が就労者に期待することや、受講生自身が仕事・アルバイトに臨む上で大切にしていきたいことについて考えた。また、働いていて嬉しいと感じたこと、楽しいと感じたことについての意見を出し合った。その一方で、働いている際には「嬉しい」「楽しい」以外にも「辞めたい」と思うことや落ち込んだ気分を感じることもあるということを全体で共有し合い、それがどのような時か、そうしたストレスにはどのように対処しているか、職場のストレス・マネジメントについて各々意見を出し合った。</p> <p>（２）講義題目：性格の新しい見方をまなぶ—ユングのタイプ論より— 講師：教育情報学研究部・教育部 中島 平 准教授 2012/11/17</p> <p>【講義内容】 性格特性のとらえ方として、特性論とタイプ論の違いを、様々な例示をもとに理解を深めた。そして、ユングのタイプ論を取り上げ、外向タイプと内</p>		

向タイプのそれぞれの特徴を学び、受講生が自身についてどちらのタイプにあてはまるのかを考え、自己の性格特性について新たな観点から理解を深めた。また、外向タイプか内向タイプかの違いによって実際のふるまいにおいてどのような差異が生じるのかを具体的に考え、タイプ論に関して日常生活の文脈のなかでの知識を広げた。

【講義形式】 はじめに講師がクリッカーを紹介し、受講生はクリッカーを使用しながら講師からの質問に回答していった。また、身近な人の性格を表す言葉についてグループごとに話し合いを行った。話し合いで出た意見を受講生が発表する中で、特性論とタイプ論の違いについて講師が説明した。その違いを理解するために各グループで、特性論的見方・タイプ論的見方から性格特性を把握することについて話し合い、理解を深めた。そして、タイプ論の中から外向タイプ・内向タイプについて講師が説明し、受講生は自分が当てはまると思うほうに分かれて新しくグループを作った。その後、「1人である時に感動する景色を見たとしたらどのような行動をとるか」について各グループで話し合い、タイプの違いについて考えた。最後に、話し合った内容を発表するとともに、グループ間での意見交換を行った。

### （3）講義題目：「学んだことをつたえあう」

講師：教育学研究科 石井山 竜平 准教授 2012/12/8

【講義内容】 学習者と共同学習者とが同じ課題に対して向き合い、学んだことを共有することをねらいとして、両者の日常生活に密接に関わっている選挙を取り上げた。講義から間もなく行われた衆議院議員総選挙の立候補者について、学習者と共同学習者とが共同して調べた後、判明した内容や意見を交換し合うことで学びの共有を目指した。

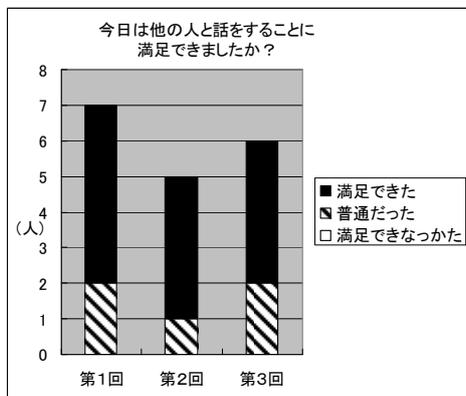
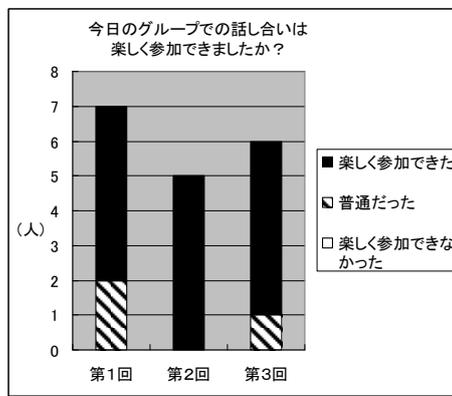
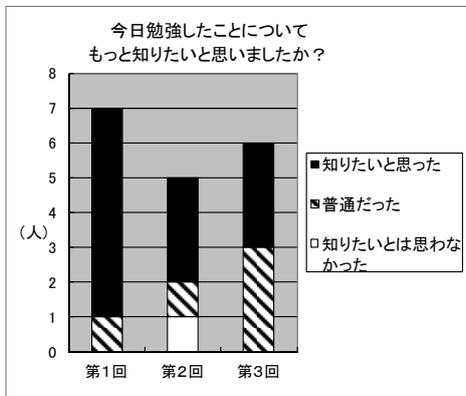
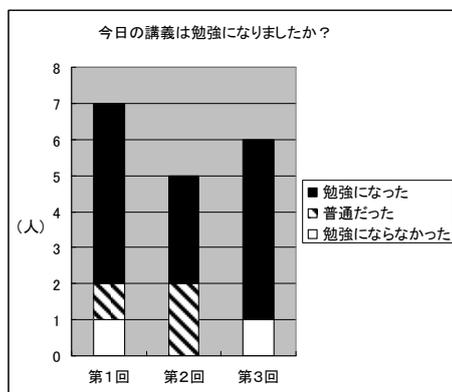
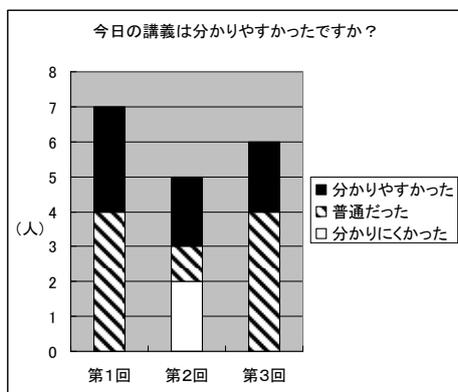
【講義形式】 導入として、海外雑誌の表紙に使用されている社会問題を表現した写真を講師が紹介し、日常に隠れた様々な事柄への疑問という問題提起を行った。その後、受講生の日常に密接に関係している選挙候補者について調べ、まとめた内容を発表するという講義の活動内容が発表された。受講生は各グループに分かれ、講義から間もなく行われた衆議院議員総選挙における各政党の立候補者についての調査を行った。なお、調べる際にはインターネットを利用した。昼食をはさんだ後も、グループに分かれて、調査した内容を模造紙にまとめる作業をした。そして、まとめたものについての発表と質疑応答の場を設け、受講生全体で内容を共有して考えを深めた。最後に、周りの物事への無関心さや自己保身などが全体主義を育てていく様子を描いた絵本を通して、日常への問いの大切さを講師が伝え、講義全体のまとめとした。

実施場所	東北大学文科系総合研究棟
スタッフ	<p>川住 隆一 (東北大学大学院教育学研究科教授)</p> <p>中島 平 (東北大学大学院教育情報学研究部・教育部准教授)</p> <p>石井山竜平 (東北大学大学院教育学研究科准教授)</p> <p>野崎 義和 (東北大学大学院教育学研究科博士後期課程)</p> <p>横田 晋務 ( // )</p> <p>永瀬 開 (東北大学大学院教育学研究科博士前期課程)</p> <p>松崎 泰 ( // )</p> <p>南島 開 ( // )</p> <p>小野 健太 (東北大学教育学部)</p> <p>後藤 祐典 ( // )</p> <p>菅原 愛理 ( // )</p> <p>平山 美穂 ( // )</p>
受講生	<p>学習者 8名：第1回 7名，第2回 5名，第3回 6名，のべ18名)</p> <p>共同学習者 10名：第1回 8名，第2回 10名，第3回 7名，のべ25名)</p>
スタッフの活動内容	<p>(1) 2012.04.06 スタッフの顔合わせ、受講生の募集に関する打ち合わせ</p> <p>(2) 2012.04.20 講師についての打ち合わせ、講座形式の確認</p> <p>(3) 2012.05.10 講師についての打ち合わせ、講座形式の確認</p> <p>(4) 2012.05.24 運営に関しての打ち合わせ、過去のデータの振り返り</p> <p>(5) 2012.06.01 運営に関しての打ち合わせ、研究会(先行研究のレビュー)</p> <p>(6) 2012.06.08 講師との打ち合わせ内容の確認</p> <p>(7) 2012.06.12 全講師と全スタッフでの顔合わせ</p> <p>(8) 2012.06.26 第3回目の講義内容に関する勉強会1回目</p> <p>(9) 2012.07.13 運営に関する打ち合わせ、研究会(方法論の検討)</p> <p>(10) 2012.08.31 学習者事前面接に関する打ち合わせ、第3回目の講義内容に関する勉強会2回目</p> <p>(11) 2012.09.20 研究会(共同学習者事前インタビューに関して)</p> <p>(12) 2012.10.05 第1回目の講座の打ち合わせ</p> <p>(13) 2012.10.12 第1回目の講義内容の最終確認</p> <p>(14) 2012.10.16 第3回目の講義内容に関する勉強会3回目</p> <p>(15) 2012.11.09 第1回目の講座の振り返りと第2回目の講座の打ち合わせ</p> <p>(16) 2012.11.16 第2回目の講義内容の最終確認</p> <p>(17) 2012.11.30 第2回目の講座の振り返りと第3回目の講座の打ち合わせ</p>

- (18) 2012.12.07 第3回目の講義内容の最終確認
- (19) 2013.01.18 第3回目の講座の振り返り、学習者事後面接に関する打ち合わせ、研究会(共同学習者事後インタビューに関して)
- (20) 2013.01.29 報告書作成の打ち合わせ、研究会(結果の検討)
- (21) 2013.02.05 研究会(結果の検討)
- (22) 2013.02.15 研究会(執筆中の論文原稿の検討)

※その他、受講生への面接・インタビュー、講師との講義内容に関する事前打ち合わせを複数回行っている。

学習者の感想



(1) 講義で分かったこと・勉強になったこと (自由記述)

<第1回目>

・ストレスへの対処(で)遊びに行く(という人)がいがいとすくなかったことにおどろきました。

・皆さんが、ふだん、どんな事を思っているのかを聞いてうれしかったです。

・私も、これか(ら)、仕事をがんばりたいとおもいました。たくさん自分のいけんをだせてよかあった(良かった)です。もっと、話しがききたかったです。

<第2回目>

・クイズで(で)、わかったのて(分かったのて)、ボタンをおしたこと

・心にも利き手があることがあることがわかった。※利き心じゃないのかな

・性格の事です。

<第3回目>

・今日は、せんきょう(選挙)のこうき(講義)で、すこ(ご)くべんきょうになったこと

・政策をもっとくわしく調べたいと思いました。

・パソコンやってたのしかった

(2) 講師やスタッフに伝えたいこと (自由記述)

<第1回目>

・かわすみ先生に、しょうかい(障害)とはたらくことを見て自分て(で)、がんばってしこと(仕事)をしたい

・いつも分かりやすく、楽しいじゅぎょうをありがとうございます

・勉強になりました。

<第2回目>

・なかし(じ)ま先生にしつもんでこたえてもらったこと

・ここまでくるのに準備が大変だったと思います。お疲れ様でした。

・寒くなってきたのでお体に気をつけて下さいね。

<第3回目>

・もっとパソコンを使いたかったです。

・最っと(もっと)、勉強を教えてください。

・石(井)山竜平先生の勉強がだいすきです。もっとながく、勉強が、したかったです。

※原文通り記載してあり、( )内はスタッフが加筆・修正した部分である。

**2012年度東北大学オープンカレッジ「杜のまなびや」受講者募集**

東北大学オープンカレッジ「杜のまなびや」とは、知的障害のある方と東北大学の大学生・大学院生を対象とした大学公開講座です。東北大学の先生の講義を聞くことや、みんなで話し合うことをします。いろいろなることを学んでみたいという人は、ぜひお申し込みください。（申し込みの方法については裏面をご覧ください。）

■日時  
 第1回 10月13日(土) 14:00～16:20  
 第2回 11月17日(土) 14:00～16:00  
 第3回 12月8日(土) 10:30～12:00, 13:00～15:20  
 ※第3回は 昼休憩をはさんでの開催となります

■会場  
 東北大学 文科系 総合研究棟

**先生方と講義の紹介**

第1回 10月13日(土) 川住 隆一 先生  
**「働くことについて」**  
 次のことを考えてみたいと思います。①働いている人の姿から学ぶことについて。②「ともに心と力をあわせ、助けあって仕事をすること」の楽しさと難しさについて。

第2回 11月17日(土) 中島 平 先生  
**「あなたはどんな性格？」**  
 あなたは、心が疲れた時にみんなと会うと元気になりますか？ それとも、一人でいると元気になりますか？ 自分の性格を体験を通して学びましょう。

第3回 12月8日(土) 石井山 竜平 先生  
**「学んだことをつたえあう」**  
 大学の授業には、学生と教員が共に同じ文献を読み、話し合いながら理解を深める「ゼミ(演習)」というスタイルの授業があります。それをみんなでやってみましょう。教材は、東北大学の授業で実際に使用したものを扱います。

**参加と申し込みの方法について**

■参加費 無料  
 ■持ち物 筆記用具(えんぴつ、消しゴム)  
 ■定員 ひらがなの読み書きができる 知的障害のある方 20名  
 東北大学の大学生・大学院生 20名  
 ※できるだけ3回とも参加できる方をお願いします

■募集期間 2012年8月13日(月)より受付開始、募集定員に達するまで  
 ■申し込み方法 下の申し込み先にご連絡ください

**会場までの地図とバス**

●バス  
 1. 【乗車】JR仙台駅より 仙台市営バス (仙台駅 西口 バス乗り場9番) 『常盤通・三学師徒通 動物公園循環』行き 『管教学』行き 『成田山』行き 『青葉台』行き  
 2. 【下車】東北大学 川内キャンパス・教ホール前  
 3. 【徒歩】4分ぐらいで会場です

**問い合わせ・申し込み先**

東北大学「杜のまなびや」事務局 (代表: 田中 真理)  
 担当: 野崎 義和 電話・ファックス: 022-795-6148 メール: a9pd1502@s.tohoku.ac.jp  
 住所: 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院教育学研究科 人間発達臨床科学研究室

Fig.1 「杜のまなびや」受講生募集用チラシ